

令和 7 年度事業報告書

(令和 8 年 6 月 1 7 日)

学校法人 総合技術学園

札幌科学技術専門学校

令和7年度事業報告にあたって

令和7年度については、令和9年度本校舎集約に向けた様々準備を行って参りました。また、移転関連や公認会計士監査・法令改正等による様々な行政申請手続き等が必要となったことから年度末までかけて全ての手続きを完了しました。

学校教育活動並びに学校運営については概ね計画通りに実施いたしましたが、学生募集については横ばい状況が続いているため今後の学校の方向性について様々な角度から検討を続けています。

I 法人(事務局)

1. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

日 時	議 題
令和7年4月22日	寄附行為変更について (評議員選任区分と人数・役員任期の変更)
令和7年5月22日①	令和6年度事業報告ならびに決算について
令和7年5月22日②	理事長の選任について
令和7年11月13日	令和7年度上半期事業報告ならびに決算について 寄附行為の変更に関する件(収益事業廃止) 専門課程学科再編に関する件(バイオ休止) 常任理事退任における退職慰労金に関する件
令和8年1月14日	学校教育法の一部を改正する法律が施行されることに 伴う学則変更に関する件。 募集停止届の提出に関する件。
令和8年3月5日	令和8年1月14日開催理事会において承認を得た学 則の修正について
令和8年3月26日	令和8年度事業計画案・予算案について 校舎校地変更申請に必要な学則の変更について 代表業務執行理事の選出について

(2) 評議員会

日 時	議 題
令和7年4月22日	寄附行為変更について (評議員選任区分と人数・役員任期の変更)
令和7年5月22日①	令和6年度事業報告ならびに決算について
令和7年5月22日②	評議員選任に関する件 理事選任に関する件 監事選任に関する件

令和7年11月13日	令和7年度上半期事業報告ならびに決算について 寄附行為の変更に関する件（収益事業廃止）
令和8年1月14日	学校教育法の一部を改正する法律が施行されることに 伴う学則変更に関する件。 募集停止届の提出に関する件。
令和8年3月26日	令和8年度事業計画案・予算案について 校舎校地変更申請に必要な学則の変更について

2. 理事・評議員・監事の状況

令和8年3月末日現在	定 数	現員数
理 事	7	7
評議員	9	9
監 事	2	2

3. 教職員体制

- (1) 採 用 本校舎用務パート （令和7年4月）
本校舎用務パート （令和7年5月）
北校舎用務パート （令和7年5月）
- (2) 退 職 本校舎用務パート （令和8年1月）
本校舎用務パート （令和8年3月）
総務部職員 （令和8年3月）
自動車工学科教員 （令和8年3月）
- (3) 定年退職（契約職員として継続雇用）
自動車工学科教員 （令和8年3月）
情報システム学科教員（令和8年3月）
- (4) 役職変更 学務部係長
自動車工学科 学科長補佐

(5) 教職員数

令和8年3月末現在	本務	兼務
教 員	25	47
職 員	12	※7

※用務および清掃パート ※常勤役員含む

4. 事務局事業報告

(1) 新寄附行為に基づく役員改選

令和8年5月22日開催評議員会・理事会において私立学校法の一部改正に伴う役員改選を行った。

(2) 高等課程の募集定員変更について

令和9年度本校舎集約に伴い高等課程の定員変更を行った。

(3) 自動車工学科二級自動車整備士（夜間）の教育終了

令和8年3月4名の卒業生を輩出し教育終了となった。

(4) 令和9年度教育体制の具体的な計画の立案と準備

複数の検討チームを編成し年間を通じて検討を進めてきた。必要な行政への申請手続きについても全て完了している。また令和8年度予算にも必要経費を計上しているとともに継続して検討を行う。

(5) 教職員用コンピュータ・データサーバーの更新

令和7年8月に入れ替えを完了した。

(6) 継続的な教育活動を行うための継続的な教員採用活動の実施

部長会議や関係者会議を重ねて検討を進めたが、最終的に採用の結論に至らなかった。

5. 総務部事業報告

(1) 施設管理

①北校舎売却による高等課程の本校舎移転による施設の配置案の作成

②北校舎解体業者の決定

(2) 主な施設設備の更新

【本校舎】①ファンコイルユニット（空調設備）3教室分交換

②複合機3台入替

【実習棟】①誘導灯予備電池交換

【北校舎】①誘導灯交換

(3) 防災・施設管理関連

① 防災訓練・・・本校舎：6月17日(火)、北校舎：6月20日(金)、
自動車実習棟：10月23日（木）実施

② 各種施設点検・・・特定建築物、電気設備、消防設備

(4) 貸教室事業等の実施

① 貸教室

年度	件数	収入（千円）
令和5年度	19	3,423
令和6年度	13	2,345
令和7年度	13	3,099

② 中学校受入（職業体験講座）

年度	件数	生徒数
令和5年度	60	231
令和6年度	98	337
令和7年度	77	245

(5) 教職員の福利厚生

① 4月4日(金) 教職員健康診断実施

② 9月1日(月)～9月12日(金) 教職員ストレスチェック実施

(6) 衛生委員会の開催

7月、9月、10月、12月(産業医校内巡回点検)、2月実施

(7) 入学式・卒業式

当初の計画では主管移行に向けて準備することになっていたが、部の体制(人員)に変更があったことから移行は行わず全面的にサポートできるように各部署と調整等行った

(8) その他

①北校舎・・・駐車場周り草刈り時の飛石により高等課程講師自家用車修理

②救命救急講習・・・白石消防署にて実施された外部講習を6名受講

6. 広報部事業報告

(1) 専門課程・高等課程広報部事業報告については学校の部にまとめて記載している。

II 学校部門事業報告

1 学校運営に関わるもの

(1) 学校評価委員会

令和8年3月には、「令和7年度における自己評価改善策（令和6年度）の進捗状況」、「令和7年度自己評価結果に対する改善策」を教職員に公表し、学校関係者評価委員への報告を行った。

なお、令和8年4月1日施行の「学校教育法の一部を改正する法律」を受けて、「自己評価」が「自己点検評価」となった（高等課程は従前どおり）ことから、令和8年度においては見直しのための計画的な学校評価委員会業務の推進が求められる。

(2) 学校関係者評価委員会

令和7年度の「学校評価」に関わり、5月15日に実施した学校関係者評価委員会において、改善策等に対する評価・助言・意見等を伺い、最終的には、「令和7年度札幌科学技術専門学校 自己評価及び学校関係者評価結果 報告書」としてまとめ、HP等で公表する。

(3) 学校組織・体制・教育内容の見直し

令和9年4月1日からの高等課程本校舎への移転に向けて、専門課程においては、バイオテクノロジー学科の令和9年度入学生の募集を停止とした。高等課程においては、令和8年度の入学者定員を25名とし、令和9年度からは、全ての学年で1クラス編成とするなど、教室の割り振りや専門課程との有効な連携について検討を図った。

(4) 部長会議について

改革・改善に向けた議題やテーマを積極的に取り上げ、学校としての姿勢や方向性を検討・協議する場として、その役割を果たした。

(5) その他

「学校教育法の一部を改正する法律」や「専修学校設置基準」の改正に対応するため、「寄附行為」や「学則」の見直しについて、各担当者が鋭意に取り組み、期限内にそれぞれが担当部署に受理された。

Ⅲ 高等課程事業報告（高等課程広報部事業報告含む）

1. 生徒異動状況

＜事業計画（目標）：2年生への進級率95%、3年生への進級率95%＞

※各学年で、生活の乱れや学習への意欲低下が見られた生徒が退学に至ってしまった。また、学力不足に加え、学習意欲が希薄なことから定期試験ごとに補習授業が必要となった生徒が、学年末となっても成績を改善できず、進路変更に至ってしまった。

学年	年度当初	転入	転出	退学	休学	原級 留置	進級・卒業者数
1	23	0	2	1	0	0	20 (87.0%)
2	30	0	0	1	0	0	29 (96.7%)
3	31	0	0	1	0	0	30 (96.8%)
合計	84	0	2	3	0	0	79 (94.0%)

※令和6年度：在籍87名（年度当初）→進級・卒業者数 84名（95.4%）

2. 資格取得状況

検定・試験名		学年区分	合格者数	受験者数	合格率[%]
ワード文書処理技能認定試験 3 級		1 年生	12	13	92.3%
C 言語プログラミング能力認定試験 3 級		1 年生	3	4	75.0%
危険物取扱者丙種		1 年生	9	14	64.3%
電卓計算能力検定	3 級	令和 7 年度未実施（進級後の令和 8 年度に実施される試験日から選択して実施予定）			
	4 級				
Excel 表計算処理技能認定試験 3 級		2 年生	18	20	90.0%
Java プログラミング能力認定試験 3 級		2 年生	0	4	0%
危険物取扱者乙種 4 類		2 年生	6	14	37.5%
Web クリエイター能力認定試験スタンダード		2 年生	0	1	0%
登録販売者		3 年生	0	3	0%
初級バイオ技術者		3 年生	2	3	67.0%
Access ビジネスデータベース技能認定試験 3 級		3 年生	12	12	100%
PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験 初級		3 年生	8	9	88.9%
第二種電気工事士		3 年生	2	4	50.0%
トレース技能検定 3 級		3 年生	3	3	100%
Web クリエイター能力認定試験エキスパート		3 年生	5	6	83.3%
I T パスポート試験		3 年生	1	1	100%

3. 生徒指導状況

スマートフォン（SNS）にまつわるトラブルの増加に対し、1年宿泊研修（4月）から研修、啓発等を継続して行ない、問題・指導に発展しないよう取り組んでいる。

4. クラブ活動等

(1) バドミントン部

定時制通信制バドミントン北海道予選大会（6月） 個人戦 ベスト8 1名

(2) パソコン部

オープンソースカンファレンスの見学（7月）

5. 進路希望状況

<事業計画（目標）：専門課程への進学率80%>

※進学者のうち、本校専門課程の割合は59%に留まった。昨年に比べ、本校以外の専門学校へ進む生徒が非常に多く、特に情報系の専門学校への流出が多くなってしまった。

<令和7年度 進路状況（3年生30名）>

進路先		詳細		人数	小計	合計
進学	大学・短大等	北海道職業能力開発大学校		1	4	30
		北海道科学大学	情報科学部 情報科学科	1		
			工学部 機械工学科	1		
		放送大学	教養学部	1		
	専門学校等	札幌科学技術専門学校		16	23	
		北海道情報専門学校	情報総合学科 ゲームクリエイタ専攻	1		
			大学併修科	1		
		札幌デザイン&テクノロジー専門学校	AI&テクノロジー科	1		
			AI エンジニア専攻	1		
			デジタルテクノロジー科	1		
		大原法律公務員専門学校 消防コース		1		
		専門学校 北海道サイバークリエイターズ大学校		1		
	就職	弘栄電気株式会社		1	2	
北海道警察		1				
未定	大学受験準備		1	1		

専門課程進学内訳

学科・コース	人数	学科・コース	人数	合計
二級自動車整備士コース	5	電気技術学科	3	16
情報システム学科	5	バイオテクノロジー学科	3	

6. 募集活動状況

(1) 学校説明会参加組数の推移

年度	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	合計
令和 5 年度	実施なし	17	19	22	58
令和 6 年度	13	26	14	17	70
令和 7 年度	13	12	17	15	57

※1年ごとに増減を繰り返す傾向がみられるが、原因は不明である。令和9年度生は入学時から本校舎への通学となるため、令和8年度の説明会は本校舎での実施で計画を進めたい。

(2) 出願区分と入学者数の推移

年度	1 次入試		2 次入試		3 次入試		合計		入学者数
令和 5 年度	単願 21	計 40	単願 1	計 2	単願 0	計 0	単願 22	計 42	31
	併願 19		併願 1		併願 0		併願 20		
令和 6 年度	単願 15	計 34	単願 4	計 11	単願 0	計 0	単願 19	計 45	22
	併願 19		併願 7		併願 0		併願 26		
令和 7 年度	単願 25	計 37	単願 2	計 3	単願 0	計 0	単願 27	計 40	32
	併願 12		併願 1		併願 0		併願 13		

※受験者総数は減少傾向にあるが、併願受験者の入学が昨年度に比べて非常に多く、入学者数は過去2年を上回った。併願者の入学割合も1年ごとに増減を繰り返す傾向がみられるが、原因は不明である。令和9年度生は、定員数や本校舎での教室配置の関係から25名を超えることがないようにしなければならず、入試制度について大幅な変更を計画している。

(3) 中学校訪問

札幌市内および近郊の各中学校(約110校)へ年2回の訪問を計画しているが、例年のこととして、教職員が通常業務の合間の限られた時間に中学校の進路担当者と面談可能な時間を調整することは難しいのが現状である。訪問時期を早めること、回数を増やすこと等の必要性も感じているため、訪問時期は午前授業または短縮授業にするなどの工夫を検討してみたい。

(4) 不登校生向けの合同学校説明会への参加

昨年同様に、実習体験ブースのある(株)オービィ主催の2回に絞って参加した。例年通り、実習体験はある程度の賑わいがあり、校内での説明会参加に繋がるケースもあるため、一定の効果はあると感じるが、会場には全日制スタイルではない学校も多く参加しており、人気は高いように感じる。本校の全日制スタイルを強調し、他校との差別化を図っていくか、登校スタイルを変えていくことで入学者の増加に繋がるのか、思案していきたい。

(5) 新たな取組について

令和7年度より新たに実施していることは、以下の通りとなる。

・学校医を交えた生徒情報交換会

以前から教員間で行なっていた定期的な生徒情報交換に、学校医の同席をいただき、教員間での情報共有に加え、発達障がい等が原因と思われる生徒の言動や指導事案について、医療的立場からの助言や医療機関との接続、学級担任の負担軽減などを図っている。

IV 専門課程事業報告（専門課程広報部事業報告含む）

1. 年度計画の実施、変更

概ね計画通り実施することができた。（詳細は6. 主な行事の企画・運営を参照）。
変更点として、酷暑の影響により7月7日午後から7月9日までを休校、7月22日午後から7月24日までを教職員の在宅勤務日とした。また大雪の影響で1月26日、2月19日も同様に休校、教職員の在宅勤務日とした。

休校とした間の授業は年度計画に組まれている授業予備日の活用や、各学科の裁量により実施している。

2. 令和7年度の学生の異動について

【令和7年度 1年生】

	入学	過年度	4月時点人数	休学	退学・除籍	休学率	退学除籍率	入学者のうち休退学者	入学者のドロップアウト率
建築	8	2	10		3		30.0%	1	12.5%
環境	8	1	9		1		11.1%		0.0%
バイオ	7	1	8						0.0%
海洋	16	2	18	2		11.1%			0.0%
電気	22		22	1	3	0.4%	13.6%	4	18.1%
情報	10	1	11	1	1	0.9%	0.9%	1	10.0%
整備	42	4	46	4	8	8.6%	17.3%	8	19.0%
専門課程計	113	11	124	8	16	6.4%	12.9%	14	12.2%

【令和7年度 2・3年生】

	進級	過年度	4月時点人数	休学	退学・除籍	休学率	退学除籍率	進級者のうち 休退学者	進級者の ドロップアウト率
建築	9		9						0.0%
環境	7	1	8	1		12.5%			0.0%
バイオ	4		4						0.0%
海洋	9	1	10	1		10.0%			0.0%
電気	14		14						0.0%
情報	17		17	1	1	5.9%	5.9%	2	11.8%
整備	23	1	24	1		4.2%			0.0%
整備（夜3年）	5	2	7		3		42.8%	1	20.0%
専門課程計	88	5	93	4	4	4.3%	4.3%	3	3.4%

3. 教職員研修

- ・整備主任者技術講習：自動車工学科教員2名受講（6月～7月）
- ・教員能力認定研修会：1名参加（7月）
- ・職業実践専門課程に係る研修会：8月…3名参加、12月…2名参加
- ・発達障害教育基礎セミナー：オンライン講習（7月）
- ・トラウマインフォームドケア講習会：オンライン講習（8月）
- ・新年研修：「ストレスチェックから見る本校の現状と対策について」（1月）
講師 札幌なかまの杜クリニック院長

4. 教職員PCの入れ替え

令和7年10月をもって、多くの教職員が使用するPCのサポートが終了になったことから8月に入れ替えを実施。また、故障のため暫定的に設置していた学内のデータ共有サーバーの入れ替えも行った。

5. 学内ユニット活動

各ユニットの担当者との協議の結果、当面ユニット活動を休止することとし、学科長会議で経緯を説明した。

ユニット活動の中で継続できる取り組みは、学務部や有志の教職員で引き続き実施していくこととした。

6. 主な行事の企画・運営

4/3	2年生授業開始	6/30～7/4	保護者懇談（1年生）
4/4	健康診断（2年生）	7/18	文化祭
4/16	入学式	7/22～8/22	夏季休業
4/17	新入生オリエンテーション	10/21・ 10/31	体育祭
4/18	健康診断（1年生）	12/17～ 1/14	冬季休業
5/26～ 5/30	保護者懇談（2年生）	3/12	卒業式

- ・文化祭：クラス毎の模擬店出店と各種イベント（カードゲーム、ダーツ、アームレスリング、ビンゴ大会）の企画・運営。
- ・体育祭：各種競技（バドミントン、バレーボール、ドッジボール、リレー）のルール策定と運営全般。二級自動車整備士コース（夜間）は10/31にボーリング大会を実施。

7. クラブ活動の運営

自動車部：練習走行会（6/14、8/23、9/6）、レース大会（9/14）。

水槽部：1階エントランス及び学内水槽の定期的なメンテナンス。

8. 学生の福利厚生と各種証明書の発行

令和7年度より学生証を外注し、カード形式のものへと変更。

9. その他

- ・地域社会への貢献活動として4月～10月までの期間で校外美化活動を実施。
- ・札幌なかまの杜クリニック院長と学校医及び産業医として契約。

10. 就職支援室

昨年度に引き続き企業側の採用意欲は高く、特に建築系や電気系、情報系、自動車整備士の求人は道外企業からも数多くきている。このような状況の中、学生の就職への意識や意欲は以前に比べ低下していると感じられる。そのため、業界セミナーやOB・OGによる職業講話などを通して職業理解および就業意欲の向上を図った。

（1）企業訪問の為の出張計画

- ①自動車工学科：道内出張2回実施
- ②上記以外の学科：実施せず

(2) 就職内定状況

学科・コース名	卒業者数	就職対象者数	就職決定者数	就職決定率
建築技術学科	9	8	8	100%
自然環境学科	7	7	7	100%
バイオテクノロジー学科	4	3	3	100%
海洋生物学科	9	9	8	88.9%
電気技術学科	14	14	14	100%
情報システム学科	15	15	10	66.7%
自動車工学科	23	23	23	100%
自動車工学科(夜間)	4	-	-	-
合計	85	79	73	92.4%

(3) その他

- ・卒業生および卒業生就職先企業等による業界セミナー等を全学科で実施。
- ・無料一般常識テストおよび無料職務適性テストを希望者へ実施。
- ・令和7年3月卒業生に対する就業状況アンケートの実施。

1 1. 学生支援センター

(1) 学生支援センターの利用者対応状況

<学生支援センター利用者数>

	対応人数	保護者対応	備考
令和7年度	29名 1年生21名/2年生7名 3年生1名	3名	退学8名、休学2名、 進級12名、卒業7名、 14名の留学生対応含む

<令和7年度対応者内訳>

	AE	H	B	F	K	ED	IS	NA	合計
1年	8	1		2	3	4	3		21
2年	3			1	1		2		7
3年								1	1
合計	11	1		3	4	4	5	1	29

<主な相談内容>※重複あり

- ・精神面での不調…6名
- ・医療的な診断を受けた学生に対するフォロー…3名
- ・家庭環境や生活の乱れによる心身不調…5名
- ・進路、就職の問題…3名
- ・経済的な問題に対するフォロー…1名
- ・人間関係のトラブル…5名

・学習面での躓き…6名

昨年度と面談者数は同数で推移しているが、これまで少数だった学習面での躓きをきっかけとしたモチベーション低下や、人間関係の悪化によるドロップアウトが目立った。

生来の発達障害や精神的な落ち込みにより医療的な診断を受けている学生、診断は受けていないが限りなく近い状態にある学生の数も依然として高水準であるが、当年度から契約した学校医とうまく連携できたケースもあり、引き続き関係の強化を目指したい。

(2) 高校訪問

登校が不安定になっている学生、休退学に至った学生、事前に出身校からの申し送りがあった学生については、出身校を訪問し状況の説明と高校在学時の対応に関しての情報提供をいただく。

前年に引き続き、本校の支援体制が学生募集の強みとなりそうな市内の通信制高校への訪問を実施した。

(3) 留学生のフォローと日本語学校訪問

留学生との定期面談を通し、学校生活における困りごとの早期発見と解決に努めた。また、市内の日本語学校訪問に加え、近郊の学校の訪問を実施。本校の支援体制が認識され始めており、関係性ができつつある。

(4) 高等課程との連携

入学式およびオリエンテーションにて生徒、保護者に対し学生支援センターの取り組みについての紹介、家庭宛の郵送物内に案内資料を同封し周知を図った。

(5) その他

日本学生支援機構をはじめとする各種奨学金取扱い団体、企業や行政が運営する学生支援事業、日本年金機構の学生納付特例等の窓口業務。

1 2. 専門課程各学科

全学科予定していた教育活動は概ね予定通りに実施することができた。

【建築技術学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数
建築 CAD 検定 3 級	7	7
建築 CAD 検定 2 級	8	7
2 級建築施工管理技術検定	9	6

②就職状況および内定企業（順不同）

2 年生：9 名、就職希望：7 名、就職内定：7 名、大学編入：1 名、自営業：1 名
 (株)花森（管工事施工管理）／武ダ技建創(株)（建築施工管理）／(株)砂子組（建築施工管理）／恵庭建設(株)（建築施工管）／アーチホーム建設(株)（建築施工管理）／(株)ラフライン（広告制作）／自衛官

大学編入：北海道科学大学 工学部・建築学科 編入

【自然環境学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数
技術士補（環境）	3	1
公害防止管理者水質（4 種）	2	1
生物分類技能検定 2 級	1	0
生物分類技能検定 3 級	9	6
2 級ビオトープ計画管理士	2	1
ドローン検定 3 級	1	1

②就職状況および内定企業（順不同）

2 年生：7 名、就職希望：7 名、就職内定：7 名

(株)コンストラクションサポート藤井（環境調査・分析）／野外化学(株)（環境調査・分析）札幌臨床検査センター(株)（調剤薬局事務）／（社福）楡の会（児童保育補助）（公財）知床財団（自然公園管理）／野付半島ネイチャーセンター（ネイチャーガイド）／北海道職員林業職

③その他

- ・登校に不安を抱える学生については支援センターと連携してケアし、徐々に遅刻、欠席は減ったが本人の不安の払拭には至っていない。引き続き慎重に対応し退学防止に努める。
- ・前年度より単位不認定で卒業保留となっている学生は卒業に至っていない。課題の進捗や連絡への反応も遅々としており、精神状況も心配される。

- ・入学体験会参加者は前年同様であったが、募集対象者は5名減少、歩留まり率は50%であった。

【バイオテクノロジー学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数
初級バイオ技術者	5	5
中級バイオ技術者※	6	5
上級バイオ技術者	1	1

※2年生は全員合格、成績優秀者1名受賞。

②就職状況および内定企業（順不同）

2年生：4名、就職希望：3名、就職内定：3名、大学編入：1名

中北薬品(株)（品質管理）／日糧製パン(株)（品質管理）／函館市役所（化学技術職）

大学編入：室蘭工業大学 理工学部・システム理化学科

③その他

- ・新規の取り組みとして1、2年生による合同実習を実施（PCR実習）
- ・企業からの案内により職場見学を実施（(株)FBS）

【海洋生物学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数
2級小型船舶操縦士	5	2
潜水土	2	1
生物分類技能検定4級	1	1

②就職状況および内定企業（順不同）

2年生：9名、就職希望：9名、就職内定：8名

北海道職員水産職A区分／北海道職員水産職B区分（3名）／

(株)富士サルベージ（海洋土木施工管理）／（国研）水産研究・教育機構（技術職）／

（一社）日高管内さけ・ます増殖事業協会（増殖技術員）／ヤマダイ佐々木水産（漁師）

※未内定者には卒業後も継続的に就職支援を実施。定期的に来校し就職活動の状況の確認と就職支援を行っている。

③その他

- ・校外実習では複数の釣り関係の実習、水族館見学、サケの人工授精、アユの人工授精、臨海実習を実施。

【電気技術学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数
第一種電気工事士筆記試験	14	10
第一種電気工事士技能試験	11	7
2級電気工事施工管理技術検定	14	10
第三種電気主任技術者	1	0

②就職状況および内定企業（順不同）

2年生：14名、就職希望：14名、就職内定14名

(株)キアテクノ北海道（電気工事）／(有)光電社（電気工事）／(株)U n i d e n（電気工事）／(株)北海電工（2名：施工管理・配電）／ヤブシタ電設(株)（2名：電気工事）／ヤブシタ冷熱(株)（電気総合）／タクミ電機工業(株)（電気工事）／東光工栄(株)（電気工事）／東光電気工事(株)（電気総合）／(株)HOKUSHIN（電気工事）／北海道コカ・コーラボトリング(株)（自販機メンテナンス）／日本メックス(株)（施工管理）

③その他

- ・入学体験会では参加者とのコミュニケーションを試みたが、ネットに顔を出したくない参加者が多くインスタグラムへ投稿できる回数は少なかった。
- ・出前授業に2回参加した。
- ・学生支援センターと連携を図り対応したものの、4名の退学者があった。

【情報システム学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数
ITパスポート	7	4
基本情報技術者	1	0
情報セキュリティマネジメント	3	3
二級デジタル通信	1	1
情報活用能力認定試験2級	1	1
WEBクリエイター認定試験	9	9
C言語プログラミング認定試験	5	3
Python言語プログラミング認定試験	4	3

②就職状況および内定企業（順不同）

2年生：15名、就職希望15名、就職内定10名

(株)ヴァックスラボ（SE）／アルティウスリンク(株)（オペレーター）／(株)CS（SE）／(株)ソルブブレイン（PG）／(株)クラーク総研（経営コンサルタント）／

日本アイ・ビー・エムデジタルサービス(株) (PG) / (株)CSソリューション (PG)
 / (株)システムグレイ (PG) / 札幌交通機械(株) (車両検査員) /
 (株)アドワンファーム (総合職)

※未内定者は卒業後も継続して就職支援を実施し、4月以降2名が新たに就職決定。

③その他

- ・学生の作品を保護者、高等課程へWEBで公開。
- ・令和7年途中から体調不良により休学となっていた学生は令和8年度より復学。
- ・持病と精神面の不調から休学、学校医のクリニックに通院中の学生1名。
- ・基礎学力検査の実施、個人面談の強化、保護者との連携を密にし学生の精神面、体調面の把握に努めた。

【自動車工学科】

①資格取得状況

資格名	受験者数	合格者数
二級ガソリン自動車整備士	27	27
二級ジーゼル自動車整備士	27	27
中古自動車査定士	7	7
ガス溶接技能講習	36	33
アーク溶接特別教育	40	40
タイヤ空気充填業務特別教育	38	38
研削砥石取換業務特別教育	38	38
電気自動車等の整備業務に係る特別教育	38	38

※二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士には4名の夜間学生を含む。

②就職状況および内定企業（順不同）

2年生：23名、就職希望：23名、就職内定23名

ネットヨタ札幌(株) (3名) / 札幌トヨタ自動車(株) (2名) /

北海道スバル(株) (2名) / ネットヨタ道都(株) (2名) /

北海道マツダ販売(株) (2名) / (株)滝川自工 (2名) /

札幌トヨペット(株) / (株)スズキ自販北海道 / 三菱ふそうトラック・バス(株) /

北海道いすゞ自動車(株) / UDトラックス北海道(株) / 日産プリンス札幌販売(株) /

旭川トヨペット(株) / ダイハツ北海道販売(株) / 北海道川崎建機(株) / 北海道日野自動車(株)

※職種はすべて自動車整備士

③その他

- ・自動車販売ディーラーによる職業指導と体験実習を積極的に取り入れた。
(協力：三菱ふそうトラック・バス(株)、日産自動車(株)、トヨタL&F札幌(株)、UD
トラックス北海道(株)、北海道日野自動車(株))
- ・職業指導の授業において複数の企業による技術講習、企業説明会を実施した。社会人としての資質の向上や心構えを学べる機会であるため、次年度も計画したい。

1 3. 学生募集報告

(1) 入学体験会参加者数

実施回	実施日	自動車	自然	バイオ	海洋	建築	電気	情報	合計	昨年同時期
1	3月29日	9		2	5	2	5		23	8
2	4月26日	3	3	1	2		3	3	15	20
3	5月9日			1		1			2	6
4	5月24日	10		1	5	1	7	6	30	16
5	6月4日	1		1	2		1		5	11
6	6月29日	10	2	1	6	4	3	4	30	24
7	7月27日	4	1	1	2	6	4		18	17
8	8月8日	10	1				5	1	17	17
9	8月23日	6		3	1		3	7	20	17
10	9月6日	3			1	1	1	1	7	7
11	9月18日	3							3	3
12	9月27日	6		1	1				8	6
13	10月18日	1		1					2	12
14	11月7日	3	1						4	7
15	11月29日	4					1	2	7	1
16	12月26日	3			1				4	3
17	1月17日	1							1	3
18	1月31日	1	2						3	1
19	2月17日	1							1	1
20	2月28日					1			1	2
21	3月19日			1					1	1
合計		79	10	14	26	16	33	24	202	183
昨年		57	13	12	30	19	28	24	183	
前年比		138.6%	76.9%	116.7%	86.7%	84.2%	117.9%	100.0%	110.4%	

※上記数字は3年生以上対象。リピーターは初回のみカウントとしています。

※5月9日、6月4日、9月18日、11月7日、2月17日、3月19日の6回は平日入学体験会 17：00～19：00 開催

※9月6日、12月26日、1月31日の3回は半日入学体験会 10：00～13：00 開催

(2) 出願者数及び入学者数（整備一級は募集休止）

入試次	実施日	自動車	自然	バイオ	海洋	建築	電気	情報	合計	昨年同時期
第1次	10月11日	28	2	2	5	4	10	5	56	38
第2次	10月25日	3	1	3	4	1	4		16	29
第3次	11月15日	1							1	3
第4次	12月6日	8		3	1		4	6	22	32
第5次	1月24日	3			1	2			6	4
第6次	2月14日	7	1		2		1	2	13	8
第7次	3月7日					1			1	2
第8次	4月1日	1	1			1		1	4	4
出願合計		51	5	8	13	9	19	14	119	
辞退者		2			2		1		5	
入学者数		49	5	8	11	9	18	14	114	
昨年入学者		42	8	7	16	8	22	10	113	
前年比		116.7%	62.5%	114.3%	68.8%	112.5%	81.8%	140.0%	100.9%	

※入学体験会参加者は昨年よりも約 20 名増えましたが、入学者数は昨年と同数程度となりました。

※留学生は入学体験会では参加が増えましたが、日本語能力が低い方もおり選考して昨年と同数程度の 8 名の入学者となりました。

(3) 広報活動報告

①ホームページの活用

LINE については無料プランから有料アカウントに切り替え、一斉配信メッセージを月 2,000 通に引き上げる契約に更新し、入学体験会や入試に関する情報発信に活用しています。SNS の活用については学科によって更新頻度の差はありますが、インスタグラムを通じてある程度の情報発信はできています。X の発信については業務の都合から着手できませんでした。

②入学体験会の強化

平日入学体験会、半日入学体験会などについては、土曜、日曜にアルバイトを入れている高校生や部活動がある高校生にはある程度のニーズがあるようで近隣のみではなく遠方からの参加もありました。参加者は少ないですが、そこからの出願もありましたので通常プログラムの入学体験会と差別化を図り、出願者に繋げていきたいと考えます。

③オンライン説明会、個別学校見学の充実

オンライン説明会は 7 名に対して実施、内 4 名が道外の留学生となっており、1 名は入学にはなったが留学生は直接対面ではないと難しいと考えます。3 名は 3 年生 1 名(入学)、2 年生 1 名(入体参加検討中)、1 年生 1 名(入体参加検討中)と遠方地域の方には有効かと考えます。個別学校見学は 13 名(内 1 名は 2 年生)に対して実施、内 6 名が入学となっており、都合で入体に参加できない層には効果があるものと考えます。

④道内各地における学校単独説明会の実施

6/30～全道 14 会場設定 2 会場開催、11/17～全道 14 会場設定 4 会場開催、
3/4～全道 14 会場設定 2 会場開催。

⑤高校訪問の充実

部長会議メンバーや一部学科教員の協力により、実績のある高校への最低 1 回の訪問は概ねできましたが、複数回訪問できた高校は少ない。また、通信制や定時制、日本語学校への訪問も最低 1 回の訪問はできており、日本語学校との留学生の情報共有や関係性ができてきました。

⑥学内での広報活動への理解向上

入学体験会の学科説明の中に入試関係の内容を盛り込むことや、学科長会議の中で入体の参加状況を報告して数字を意識してもらうようにしてきましたが、一部の理解はあるものの全員の理解は得られていません。

⑦高等課程との連携強化

高等課程の多様な生徒がいる中、進路の先生と入学体験会の参加状況の情報共有や個別面談など行い対応してきました。ミニ四駆走行会は高校生よりも小学生対象のイベントとしたい、夏休み中は暑さ対策から避けたいなどの意向があり、本年度は休止としました。各学科への入学者は次の通りです。

⑧WEB 出願システムの導入

中々手が付けられなかったため、一旦止めています。本当に本校に必要なものなのか再度検討したいと考えます。